

ほ場整備の事業効果（米の生産コストの削減）

- ・ほ場整備により、農地の大区画化や用排水路・農道等が整備され、農業機械の大型化が可能となり、省力化が図られます。
- ・また、ほ場整備を契機に集落営農法人が設立され、個人経営から法人経営に変わり、経営規模が大きくなっています。
- ・このことにより、米の生産コストは、ほ場整備を実施した地域では、約4割から5割の削減が図られています。

ほ場整備事業実施地域における米の生産コスト

地区	ほ場整備 前				ほ場整備 後								
	水稲作付面積 (1戸平均)	経営形態	米の生産コスト (円/10a) ①	米の生産コスト (円/60kg) (a)	水稲作付面積 (法人)	経営形態	法人への 農地集積率	米の生産コスト (円/10a)			米の生産コスト (円/60kg)		
								②	削減額 ③=②-①	削減率 ④=③÷①	(b)	削減額 (c)=(b)-(a)	削減率 ④=③÷①
A地区 県東部の平坦地	0.86ha	個人	191,528	22,015	84.5ha	集落営農法人	79%	95,479	△ 96,049	△50.1%	10,809	△ 11,206	△50.9%
B地区 県東部の平坦地	1.02ha	個人	197,357	23,356	47.0ha	集落営農法人	91%	98,577	△ 98,780	△50.1%	13,114	△ 10,242	△43.9%
C地区 県東部の平坦地	0.79ha	個人	206,152	24,349	14.3ha	集落営農法人	79%	103,352	△ 102,800	△49.9%	12,865	△ 11,484	△47.2%
D地区 県東部の中山間	0.94ha	個人	211,666	23,917	19.8ha	集落営農法人	81%	113,423	△ 98,243	△46.4%	14,449	△ 9,468	△39.6%
E地区 県西部の中山間	0.92ha	個人	191,879	29,146	11.7ha	集落営農法人	63%	105,662	△ 86,217	△44.9%	13,842	△ 15,304	△52.5%

※農業技術センター「集落営農型法人における規模別米生産費調査」から取りまとめ